

春です！種まきの季節 感謝の心を育てるために

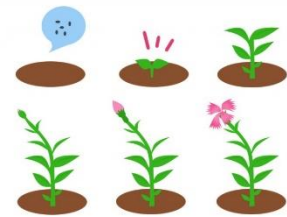
長和小学校長 葛西正敏

「子どもたちに育てたい心は何ですか。」と尋ねたら、思いやりの心、感動する心、自らを律する心、様々な答えが返ってくるでしょう。

しかし、その中で「特に大事だと思う心を3つ挙げて下さい。」と聞かれたら、保護者や地域の皆様、先生方はどんな心を選ぶでしょう。

3つすべてを的中させる自信はありませんが、感謝する心はたぶん入ってくるのではないかと思います。

それは、多くの人が豊かで幸せな人生を送るためには、感謝というキーワードが大切であると思っていることや日々不平・不満を言い続けて幸せになった人がいないことを私たち大人が経験則で知っているからです。



では、どのようにしたら子どもたちに感謝する心を育てることができるのでしょうか。

残念ながら、そのための手引きやマニュアルは存在しませんが、私のこれまでのささやかな経験から言えることは、大人自身が感謝の心をもった肥沃な大地となり、子どもたちの心に感謝の種をまき続けることが何よりも重要だということです。

子どもたちが突然あるいは自然に感謝の心を獲得することはありえないことです。まずは気づきの種まきが必要です。

今日（5月10日）寒い中、信号のところやコンビニの前で子どもたちの安全を守って下さっている交通指導員の方や地域の方々に対してもです。

子どもたちに何も伝えなければ、いつもいてくれる程度の理解の子であったり、気にも留めない子もいるかもしれません。私たち大人が伝えることで1つの種がまかれることになります。その時「みんなが事故にあわないために立ってくれているんだね。」「朝早くから、寒い中、大変だったと思うよ。」「あいさつをきちんとしようね。」等という**言葉が添えられることで、その種は一回りも二回りも大きな種となります。**

種まきが大事ですと言っても年に数回の種まきでは、感謝の心が芽を出すことは難しいでしょう。そこで次に大切なのは、大人が自らの人間性や感性を豊かにして**繰り返し種まきをすること**です。

「みんなが食べている給食は、センターの方々が生懸命作ってくれたんだよ。残さずにきれいにたべようね。」「長和小でしかできない田植えや稲刈り、干し柿づくりの体験は、田んぼを貸してくれ、お世話してくれる方のおかげだね。しっかりお礼を言おうね。」等々、感謝の種は私たちの周りにいくらでもあるけど、それに気付くためには、私たちの人間性や感性が必要です。



そして、最後に最も大切なことは、私たち自身が子どもたちとの出会いに心から感謝するということです。「生まれてきてくれてありがとう」「この子たちに出会えてよかった。」と思えない限り、いくら種をまいても芽が出ることは決してない。感謝の心を育てる前に、私たちが感謝の心をもつことが最初であると考えます。

「長和小学校学校運営協議会」

平成29年度から伊達市内全小中学校で設置しています。設置の目的は次の3点です。

- 学校、保護者及び地域住民の連携・協働による学校教育活動の充実。
- 地域の「ひと・もの・こと」を生かした特色ある学校づくり。
- 地域とともにある学校づくりと地域の活性化。

今後も、学校運営協議会を学校経営の基軸とし、学校支援、学校運営、地域貢献の取組を協議していきます。

～委員の皆様～
会長 仲島輝夫様
(長和11自治会長、元小学校長)
副会長 萩原祐太様
(長和小PTA会長)
委員 佐藤秀雄様
(元長和連合自治会長)
山田秀一様
(学校評議員、元PTA会長)
泉浩運様
(学校評議員、元PTA会長)
関坂昭典様
(学校評議員、元小学校長)
高野池麻美様
(長和小PTA)
葛西正敏
(長和小校長)

思い出いっぱいの遠足

少し肌寒い天気でしたが、元気な長和小学校の子どもたちにはちょうどよいくらいでした。1.2年生は館山公園へ、3.4年生はカルチャーセンターへそれぞれ向かい、元気いっぱい歩いてきました。5.6年生は宿泊学習や修学旅行があるため、学校で学習です。

昼頃には天気もよくなり、青空のもと、共に歩き、お弁当を食べ、笑い、仲間意識が今まで以上に高まりました。保護者の皆様、お弁当や持ち物のご協力、ありがとうございました。



子どもたちの学力と教師の授業力を向上させるために

平成30年度から、長和小学校では子どもたちの「わかった」「できた」という喜びの笑顔を見るための、2つの取組がスタートしました。

1. **「外国語巡回指導教員」**…堀教諭(伊達西小学校)が、外国語活動(3.4年生)、外国語科(5.6年生)の学習をサポートします。
2. **「授業改善推進チーム」**…岩佐教諭(東小学校)、沼田教諭(伊達西小学校)、吉崎教諭(本校)が、国語科(全学年)、算数科(全学年)の学習をサポートします。

外国語巡回指導教員は、専門的な知識や正確な発音をもとにTT(チームティーチング)で子どもの学びをサポートします。毎週火曜日に行っています。

授業改善推進チームは子どもたち一人一人に応じた学習サポートをすることを目的として、東小学校、西小学校、長和小学校の授業の質の向上を目指し、各教師に指導や助言をします。だいたい3週間に1週の割合で、東小、西小、長和小を3人のチームで巡回しています。

